

## シラバス – プロジェクトマネジメント入門 –

- ▼ [基本情報](#)   ▼ [科目概要](#)   ▼ [科目目標](#)   ▼ [履修前提条件](#)   ▼ [関連するバッジ](#)   ▼ [授業教材](#)
- ▼ [期末試験実施方法について](#)   ▼ [授業時間外の学修と評価について](#)   ▼ [評価配分](#)
- ▼ [各回の授業内容\(予定\)](#)

### ● 基本情報

学部	IT総合学部
科目	プロジェクトマネジメント入門
教員名	勝 真一郎
年度 / 学期	2026年度春学期
開講期間	2026/4/3 ～ 2026/8/6
科目履修区分	専門基礎(選択)／専門基礎(必修)／専門基礎科目
単位	2
科目レベル	1

### ● 科目概要

ビジネス環境の変化が加速化する現在、非常設の目的達成型組織であるプロジェクトによる活動が増加している。本科目では、プロジェクトマネジメントの入門編として、プロジェクトという活動の特徴と、それをマネジメントする際の基礎的知識を体系的に学ぶ。後半では情報システム開発プロジェクトの特徴とマネジメントの勘所について事例を使いながら解説し、初歩的な情報システム開発のプロジェクト計画書の作成手順について説明できるようにする。

【科目コード】PM101

### ● 科目目標

#### 【到達目標】

- ①PDCAの考え方を理解し、説明できる
- ②プロジェクト全体のサイクルを理解し、立ち上げの手順を説明できる
- ③プロジェクトの管理、計画で使用するWBSについて説明できる
- ④WBSをベースとしたシステム開発のプロジェクト計画書作成の手順を説明できる

- ⑤事例について往路、復路の分析から、クリティカルパスを判断できる
- ⑥プロジェクトにおける、コスト・品質・組織・コミュニケーション・リスク・調達の6つのマネジメントについて、説明できる

※授業科目間における成績評価基準の統一化と修得基準の明確化を目的に、科目目標を履修目標と到達目標に分けて設定しています。履修目標と到達目標の定義は以下の通りですが、最低限身につける内容を表す到達目標のみ設定している科目もあります。

履修目標：授業を履修した人が、授業で扱う内容を十分に身につけたことを表す水準です。履修目標を概ね達成すれば、成績はBに相当します。

到達目標：授業を履修した人が最低限身につける内容を表す目標です。履修目標を達成するには、さらなる学修が必要な水準です。到達目標を概ね達成すれば、成績はDに相当します。

[この科目とディプロマポリシーとの対応はこちらのページから確認してください](#)

## ● 履修前提条件

なし

※この科目は、実務経験のある教員による授業科目です。教員の経歴や補足説明は以下の通りです：  
機械製造業で18年勤務。設計、製造、販売のプロジェクトマネジメントを経験。情報システム部門のトップを務めるなど企業内での経営と管理の職歴もある。現在もコンサルタントとして、企業及び地方自治体におけるプロジェクトの支援を行っている。

## ● 関連するバッジ

IT総合学基礎

## ● 授業教材

教科書 ※購入必須

なし

ツール

なし

※[大学の定める必要環境](#)はご用意ください。

参考資料 ※購入任意

題名	著者	出版社	発行年	備考
仕事の成功はダンドリで決まる！カレーで学ぶプロジェクトマネジメント	勝 真一郎	渚上印刷株式会社	2013.12	Kindle版 455円（税別）。※2025年2月1日時点の金額です。
カレーで学ぶプロジェクトマネジメント	勝 真一郎	デザインエッグ社	2013.11	1,500円（税別）

その他の資料

なし

## ● 期末試験実施方法について

## ● 授業時間外の学修と評価について

■ 前回の講義内容について繰り返し視聴を行って復習するとともに、予習として科目のお知らせで提供する追加情報や次回の学習資料を確認してください。

■ 学習資料を見た上で、分からない専門用語については、学内外の電子辞書サービス等を活用して調べておきましょう。

■ 受講後の発展的学習として、シラバスや授業内で紹介する参考図書や関連情報のサイトを熟読してください。

### 【オフィスアワーについて】

Zoomで対応します。申込制のため、事前に「学生サポート」ページのオフィスアワー申込フォームから申し込んでください。

実施は希望日時で応相談

メールでの相談も受け付けています。

## ● 評価配分

ディベート	レポート	小テスト	期末試験	その他	合計
0 %	0 %	50 %	50 %	0 %	100 %

## ● 各回の授業内容

回	授業内容および目次	小テスト他	備考(教科書、参考資料等)
第1回	1)タイトル: オリエンテーション  2)学習目標: プロジェクトという活動の概要と、本講義の流れを理解する  3)目次: 第1章 プロジェクトマネジメントとは？ 第2章 何故、プロジェクトマネジメントなのか？ 第3章 講義の全体の流れ 第4章 学習するにあたって	・小テスト	
第2回	1)タイトル: プロジェクトのライフサイクル  2)学習目標: プロジェクトのライフサイクルと運営のしくみを理解する  3)目次: 第1章 プロジェクトを取り巻く課題 第2章 プロジェクトのライフサイクル 第3章 プロジェクト型組織の形態 第4章 プロジェクト運営のしくみ	・小テスト	

第3回	<p>1)タイトル: 管理の基本PDCA</p> <p>2)学習目標: プロジェクトのマネジメント技術の中核である、計測の大切さとPDCAについて理解する</p> <p>3)目次: 第1章 管理するには、まず測る 第2章 原因を探って改善する 第3章 PDCAとは何か? 第4章 変更への対応力を磨く</p>	・小テスト	
第4回	<p>1)タイトル: プロジェクトの立ち上げプロセス</p> <p>2)学習目標: プロジェクトを立ち上げる際のリーダーの役割と、立ち上げの手順について理解する</p> <p>3)目次: 第1章 問題意識を高めよう 第2章 規模の見極め 第3章 関係者を組み立てる 第4章 プロジェクトの立ち上げ</p>	・小テスト	
第5回	<p>1)タイトル: プロジェクトのタイムマネジメント</p> <p>2)学習目標: スケジュール管理を行なうためのWBSをベースとした計画表の作成について理解する</p> <p>3)目次: 第1章 WBSの描き方 第2章 タスクの順序決め 第3章 所要時間の見積り 第4章 スケジュールの作成とその利用</p>	・小テスト	
第6回	<p>1)タイトル: クリティカルパスのを見つけ方と対応</p> <p>2)学習目標: クリティカルパスのロジックと、期間短縮の策について理解する</p> <p>3)目次: 第1章 クリティカルパスとは 第2章 往路分析と復路分析 第3章 クリティカルパス分析 第4章 期間短縮の試み</p>	・小テスト	
第7回	<p>1)タイトル: プロジェクトのコストマネジメント</p> <p>2)学習目標: コスト計画の作成と、進捗把握の手法であるEVMの考え方を理解する</p>	・小テスト	

	<p>3)目次:</p> <p>第1章 予算を立てよう</p> <p>第2章 発生コストの把握</p> <p>第3章 アーンドバリューマネジメント</p> <p>第4章 実行管理と対策</p>		
第8回	<p>1)タイトル:</p> <p>プロジェクトの品質マネジメント</p> <p>2)学習目標:</p> <p>プロジェクトの品質目標の考え方から、目標設定とその実行評価までのプロセスを理解する</p> <p>3)目次:</p> <p>第1章 品質をチェックするとは?</p> <p>第2章 品質目標設定のしかた</p> <p>第3章 品質確認のプロセス</p> <p>第4章 不具合の発見と改修</p>	・小テスト	
第9回	<p>1)タイトル:</p> <p>プロジェクトの組織マネジメント</p> <p>2)学習目標:</p> <p>プロジェクトにおける組織形成のしかた、ならびに「場」の大切さと、プロジェクト中での人財育成について理解する</p> <p>3)目次:</p> <p>第1章 組織で仕事をする</p> <p>第2章 典型的な組織形態</p> <p>第3章 プロジェクトと場</p> <p>第4章 プロジェクトと人財育成</p>	・小テスト	
第10回	<p>1)タイトル:</p> <p>プロジェクトのコミュニケーションマネジメント</p> <p>2)学習目標:</p> <p>プロジェクトにおける人と人との間のコミュニケーションの効果的なとりかたについて学習する</p> <p>3)目次:</p> <p>第1章 効果的な報告</p> <p>第2章 コミュニケーションの頻度と会議体</p> <p>第3章 デジタルコミュニケーションの利用</p> <p>第4章 合意の形成</p>	・小テスト	
第11回	<p>1)タイトル:</p> <p>プロジェクトのリスクマネジメント</p> <p>2)学習目標:</p> <p>プロジェクトにおけるリスクの理解と、その対応のしかたについて理解する</p> <p>3)目次:</p> <p>第1章 リスク分析について</p> <p>第2章 プラスのリスクとマイナスのリスク</p> <p>第3章 発生確率・影響度マトリックス</p> <p>第4章 リスクの監視</p>	・小テスト	

第12回	<p>1)タイトル: プロジェクトの調達マネジメント</p> <p>2)学習目標: プロジェクトにおける調達活動について、計画の立て方から契約と納入までのプロセスについて理解する</p> <p>3)目次: 第1章 購入・取得計画の立案 第2章 納入者の選定 第3章 契約管理 第4章 契約の終結</p>	・小テスト	
第13回	<p>1)タイトル: システム要求仕様書</p> <p>2)学習目標: プロジェクトの成果物を記述した要求仕様書について、その概要を理解する</p> <p>3)目次: 第1章 危険な思い込み 第2章 クライアントの要求を探る 第3章 要求仕様書を作る 第4章 データフロー図を描く</p>	・小テスト	
第14回	<p>1)タイトル: プロジェクト計画書の作成</p> <p>2)学習目標: 本講義で学んできたプロジェクトマネジメントの知識を計画書に盛り込み、実際に活用できるようになる</p> <p>3)目次: 第1章 プロジェクト計画書 第2章 プロジェクト計画書の作成(1) 第3章 プロジェクト計画書の作成(2) 第4章 プロジェクト計画書の活用</p>	・小テスト	
第15回	<p>1)タイトル: まとめ</p> <p>2)学習目標: 全体のまとめとして、プロジェクトマネジメントの基本である、PDCA、コミュニケーション、能力発揮について掘り下げ、成功の確率を上げる工夫を復習する</p> <p>3)目次: 第1章 基本はPDCA 第2章 基本は人間同士のコミュニケーション 第3章 基本は人の能力発揮 第4章 成功するようにしかける</p>	・小テスト	